

坂元小だより

鹿児島市立坂元小学校
学校だより
令和6年 1月号
発行責任者：中村宗義



やる気に満ち

がんばりぬく

みんな笑顔の坂元小

よりよいチームへ

校長 中村 宗義

年末、帰省してきた息子夫婦が加わり、恒例となっているそば打ちをしました。そばをこねる人、麺棒で延ばす人、切る人、茹でる人、火力の調整をする人と分業制で行っています。おいしい蕎麦をつくるためにそれぞれの係が重要で、「団子が固いから麺が伸びない。ぬるま湯を足してこねて。」とか「切り方太いぞ。茹で上がったらうどんの太さになる。」とかアドバイスとも野次ともとれるような声がとんできます。

さて、グループとチームの違いは何でしょうか。グループは単に人が集まった状態を指します。一方、チームはそれぞれが得意なことやできることなどの役割が割り振られ、目標に対する責任を持ちます。その点では、家族はみんなで助け合うチームです。例えば、「あなたは炊飯係ね」となると、米を洗い、スイッチを入れないとご飯が食卓に並ばないこととなります。それでは、家族みんなが困ってしまいます。また、誰か一人の役割が大きいとそのチームのどこかに歪みがでます。そして、その人が欠けてしまうとチームとして機能しなくなります。

チームの一員として、役割を担うことや助け合うこと。そして、役割が果たされたとき「ありがとう」「助かってる」など声を掛けられるとやる気が湧いてきます。それぞれの家庭や学校、職場や地域など、よりよいチームにしていきたいものです。

「家庭学習『学年×15分』」の取組について

児童の学力維持・向上のためには、家庭学習の充実が欠かせません。そのために、本校では、「家庭学習『学年×15分』」の取組を進めています。11月に実施したメディアコントロール週間で、各家庭の家庭学習の取組について調査した結果、期間中に「学年×15分」を達成できた児童の割合は以下の通りでした。

令和4年度 低学年・・・87.8% 中学年・・・72.0% 高学年・・・55.1%

令和5年度 低学年・・・77.4% 中学年・・・64.0% 高学年・・・56.0%

学年が上がるにつれて、家庭学習の時間が長くなるので、達成率が下がる傾向にあります。昨年度と比較すると、同時期の取組が低・中学年が下がっています。2月のメディアコントロール週間でも同様の調査を実施いたします。児童の学力向上のために、「学年×15分」の達成率が少しでも向上するように、ご家庭での御協力をよろしくお願いいたします。

※メディアコントロール週間は、家庭学習強調週間(坂元中校区3校の共通実践事項)になっています。

*裏面もあります。